

授業科目名	医療実務 I		科目コード	202005		
開講クラス	医療事務科	コース	総合コース	学 年	1 年	
担当教員	柳原 哲郎		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)			
	実務経験内容 病院に2年間勤務し、主に医事課業務に従事 実務経験を活かし、医療保障制度などの仕組みを理解させる授業を行う					
開講時期	<input type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1単位		
使 用 テキスト 1	書 名	医療関連法の完全知識				
	著 者	安藤秀雄・望月稔之・並木 洋				
	出版社	医学通信社				
使 用 テキスト 2	書 名	改訂医療秘書				
	著 者	寺田智昭・大塚 映・森合恵子				
	出版社	建帛社				
参考図書	公費負担医療の実際					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習					
<授業の目的・目標> ・ 医療事務者として必要な医療に関する各制度・法規の基本的な知識について理解する。 ・ 日本の医療の成り立ちを知り、医療界の現状を知る。医療事務者の業務内容を理解することを目的とする。 ・ 医療秘書検定試験 3 級の合格を目標とする。						
<授業の概要・授業方針> ・ 医療機関において、医療保障制度の知識は重要であるため、医療現場での身近な話題、経験談も導入し授業を行う。 ・ 医療機関に関する法規をはじめ、医療従事者、予防衛生・保健衛生、医薬品・医療機器、医療保険、労働、社会福祉、健康被害補償、環境衛生などの法規について理解する。 ・ 医療事務者として基本的な法規については、内容がわかるようになる。 ・ 医療秘書検定試験 3 級の取得に向け、過去問題集を使用し対策を行う。						
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%						
<使用問題集・注意事項> ・ 医療秘書検定試験 3 級 過去問題集						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・ 関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」						

授業科目名		医療実務 I	
回	授業内容		備考
1	医療保険制度、保険の種類		
2	医療費のしくみ、療養の給付流れ		
3	小テスト（療養の給付流れ）、診療報酬に関する法規		
4	医療法		
5	医療法、医師法		
6	健康保険法		
7	健康保険法		
8	医療従事者に関する法律		
9	病院の形態と種類		
10	国民健康保険		
11	組織の種類と特徴、病院の機能		
12	医療秘書検定試験 3 級 過去問題①		
13	過去問題① 解説		
14	医療秘書検定試験 3 級 過去問題②		
15	過去問題② 解説		
16	医療秘書検定試験 3 級 過去問題③		
17	過去問題③ 解説		
18	医療秘書検定試験 3 級 過去問題④		
19	過去問題④ 解説		
20	医療秘書検定試験 3 級 過去問題⑤		
21	過去問題⑤ 解説		
22	医療秘書検定試験 3 級 過去問題⑥		
23	過去問題⑥ 解説		
24	医療秘書検定 自己採点 医療保険制度確認		
25	医療秘書検定 2 級内容（健康保険法）		
26	// （健康保険法）		
27	// （医療法）		
28	// （医療法）		
29	// （国保）		
30	まとめ		